

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 響	代表者	井上和弘	法人・事業所の 特徴	27年6月に開設した事業所です。2階にサービス付き高齢者住宅を19床併設しており、住宅、在宅と生活スタイルに応じた支援を目指しています。医療との連携を重視しており、看護師常在はもちろん、24時間医療と連携ができる体制を整えています。
事業所名	小規模多機能ホーム 三町	管理者	松田浩二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	3 人	0 人	6 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の“ほとんどできていない”の項目が、少しでもスタッフが理解し、“できている”になるよう、その項目について、職員会等で話し合う機会を設ける。	個人の評価を拝見し、よく取り組まれていると思います。毎月の反省プリントがあり、各項目について個々に振り返りができるよう、もう何年も継続している。それを職員会にて意見を集約し、共有している。	あまり難しいことを計画にすると、結局達成できないことになってしまいがちなので、わかりやすい表現で計画に取り入れた。今できていることも継続していく。どうしても毎年していることなのに、例えば“社会資源”の意味がわからないという意見もある。少しずつ理解できるよう勉強会や個別に指導することも必要かと思われる。	介護保険のしくみや、小規模多機能型居宅介護について理解したうえで、本人主体の支援を心掛けることができるよう、事業所として取り組んでいく。今後もサービス評価の内容を意識して仕事に取り組めるよう、申し送りや職員会などで工夫していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	常に環境整備と感染症対策に留意し、気持ちの良い挨拶で来客を迎える。近所を散歩などして、顔見知りの関係を築く。	三町の事業所では、利用者が離脱したこともあり、近くの道路が細くて危険なため、どうしても施錠せざるを得ない状況があるが、事務所に人がいる場合など、短時間空けていたり、施錠していてもすぐに開けるようにしている。スタッフが忙しそうで、玄関のチャイムを鳴らすのが申し訳にくくて入りにくい。施錠の面で言うと、他事業所では日中開けて夜間閉めているところもある。それぞれの実情に合わせて考えていると思う。前の道路が交通量が多いとか。	玄関先には季節の装飾など利用者さんと作ったものを飾っている。整理整頓、掃除などしている。今の時代柄、散歩に行こうと思っても丁度いい気候が短いため、なかなか行けない。外出はしている。	来訪者だけでなく、利用者や職員にとっても居心地の良い事業所であるよう、一人一人が意識して環境整備等していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントへ参加したり、事業所のイベントを回覧板などで周知する。また、事業所のことを周知できるよう、パンフレットなどでアピールする。	集会所の掲示板、回覧板の活用にて事業所のお知らせなどしている。認知症カフェの日は、カフェによくある黒板みたいなもので案内している。近くの犬のしつけ教室が年に何回かドッグセラピーに来てくれている。家族や近所の方が花など持って来てくれる。	場所がわかりづらく、看板もない。しっかりとしたものを作る。	事業所がわかりやすくなる工夫をする。(看板を設置する、パンフレットの地図など)地域資源を発掘しながら、地域の行事などへも参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご近所の方とのつながりが持てるよう出向いていき、利用者と地域の行事に参加する機会を設ける。	近くにお住まいの方で、よくこちら辺の草引きをしてくださる方がいて、いろいろと関わっている。最近県外の息子さんが帰ってきたようで、安心している。年度初めに民生委員さんとの話で、独居の方への訪問などしていけたらいいと話していたが、民生委員の方もいろいろと私情があり、運営推進会議にも今年はまだ参加されておらず、実現できていない。認知症カフェでの、介護保険の相談はあった。4の項目はダイレクトに包括に来ることが多い。	三町は行事が少ないようだが、夏祭りや秋祭り、消防のイベントなど参加させてもらった。	外部の困りごとはもちろん、事業所の困りごとを、地域へ発信して一緒に解決していけるよう話し合っていく。できる範囲で、近隣の困りごとがある方の相談をお聞きしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に、様々な方に参加して頂けるよう呼び掛ける。また、運営推進会議を通して地域の課題に向けて連携する。	地域での取り組みを実際にできなところがあり、難しい。どうしても業務優先となりいっばいいっばいで、大きい法人でもないため地域との協働するまでの余裕が無いのも事実。事例検討も実際にしていきたい。運営推進会議の議題がマンネリ化している。町内会との協働の訓練も、やりたい気持ちはあるがなかなか実行できていない。	例えば、地域と事業所の防災訓練を、運営推進会議でするところもある。別に考えず一緒にすればいい。また、運営推進介護を他と同じようにしないでいいと思う。三町は三町で、わかりやすくされている。マンネリ=安定していることだと思う。	運営推進会議と合同でできることを検討する。事例検討会を開催出来る様努力する。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>町内会と共同した訓練を実施する。今後、南海トラフ地震を想定した備蓄や、訓練を実施していく。</p>	<p>防災訓練は事業所内内で行っている。ストックは置く場所がなく、できていないのが現状。それでも必要なものを少しずつ購入している。発電機などもあればいいと思うが、高額である。今後、水と食料(保存期間が長い物)を購入していかなければならない。阿部のマスクがたくさん送られてきて困ったことがあった。近くの保育園へ寄付すると喜んでくれた。</p>	<p>実際に発電機は20キロあり、女性では持ち歩けない。災害時、一番困るのはトイレ。食は1日、2日は大丈夫でも、排泄はそうはいかない。実際に簡易トイレをDAISOで購入したが、体重制限があり、座高も低い。大きい法人は備蓄もできているところが多い。</p>	<p>災害時のストックを徐々に増やしていく。災害の研修等へ参加し、知識や技術を学ぶ。</p>
----------------------------	--	--	---	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	9	3	0	15

前回の改善計画	記録をより具体的なものにするために、ご本人の言葉やその時の状況など記録していく。ご本人の暮らしを理解し、ご本人が持っている力を支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々、本人の持っている力を探り、活かせるよう検討している。その時の状況に応じて支援している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	7	3	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	9	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	8	2	2	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	10	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	10	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の体調の変化や気持ちの変化に気づいた際は、すぐに上司に相談したりスタッフ間で話し合い記録している。 ・共有されたことはすぐに実践している。 ・その時その時の体調に合わせた食事形態を提供している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント不足で、ご本人との繋がりや以前の暮らしを把握できていない。(コミュニケーション不足だから、フェイスシート、ケアプランの読み込みができていないから) ・日本語が難しいため、人の気持ちを伝えるのが難しい。 ・利用者さんの気持ちの沿った排せつや入浴ができていないことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた対応、支援が出来るよう報告・連絡・相談を重視し、多職種連携をしていく。 ・過剰介護にならないよう、ご本人の力(エンパワメント)を活用した支援をする。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30～20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	9	2	2	15

前回の改善計画	スタッフひとりひとりが地域資源について学ぶ。利用者の生活歴を情報や、ご本人から聞き取り、アセスメントを共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の生活スタイルや人間関係など、面会時や知人等にも聞いている。 ・地域資源についてわかっていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	10	3	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	7	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	5	7	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	5	6	3	15

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・業務をしながらでも、利用者の位置や場所を把握している。 ・洗濯物を干しているときに、挨拶をしたり会話を近所の方としている。・認知症実践者研修を通して、一人の利用者に対して、過去の生活スタイルや人間関係を理解し、支援できた。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との関りが無い。 ・民生委員の意味がわかっていない。 ・本人に関われる民生委員が把握できていない。 ・本人の家族や、地域資源などどういことか理解できていないから、活用できなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源や今までの生活スタイルを把握し、ご本人とこれまでの関係をつないでいけるよう努力する。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	15名
----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	9	6	0	15

前回の改善計画	積極的に外に出向き、地域資源を見つけていく。 利用者の些細な変化を早めに共有し、支援につなげていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・今年はいろんなところへ外食行けたと思う。 ・夏祭りや消防訓練への参加ができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようと思わず、地域の資源を使って支援していますか？	3	8	3	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	5	2	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	8	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	9	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・柔軟な支援の提供。 ・家族の状況に合わせて泊まりを調整し、柔軟に対応できている。家族との連絡ノートで家での様子を知ることができ、その日その日の状況把握ができ対応できている。臥床時間の確保や無理のない入浴など。
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・やむを得ない連泊の利用者が居て、臨機応変な泊まりサービスが難しい時がある。(以前よりはできるようになっている) ・地域の資源を理解できていないから、地域との協力ができていない。 ・チームの気持ちがあいつでないから、情報の共有はできているがそれを元にした支援が十分にできない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・記録を今まで以上に詳細に残し、地域資源とつなげていく。 ・ミーティングを開催し、スタッフへ共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

6. 連携・協働	メンバー	15名
----------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	7	4	1	15

前回の改善計画	地域の行事に参加したり、三町オレンジカフェ心音を周知し、地域との繋がりを増やしていく。他事業所との連携を密にし、利用者のQOLの向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの会議に参加し、地域や病院の情報を得ている。 ・他事業所や機関と連携することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	5	4	4	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	4	8	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	4	2	9	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	5	4	5	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・心音は参加できている。 ・消防の避難訓練を実施している。 ・スタッフの子供がお手伝いに来てくれる ・定期的に心音を開催している。おむつの勉強会ができた。利用者の友人が来てオカリナの演奏をしてくれた。 ・心音の周知、参加者も増えてきた。地域の行事への参加。カンファレンスの開催。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との活動や会議は参加できていない。出勤の都合上、人任せのことが多いため。連携はよくわからない。 ・コロナ禍で、一時交流の行事が中止となり、それから地域の子供たちが事業所を訪れていない。 ・日々の勤務の中で余裕がなく、自治会や町内会の活動やイベントに参加できなかった。 ・関りがなく、子供の訪れがない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動やイベントへ参加し、また三町の心音や行事へ来て頂けるよう、周知していく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
7. 運営	メンバー	15名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	9	5	1	15

前回の改善計画	スタッフ一人一人の意見を尊重し、意見を発信しやすい環境づくりを心掛ける。 炊き出し訓練などの、地域と共同した取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 意見を発信している。 月一回の職員会において意見を出し合うことができる。 炊き出し訓練などの地域と共同した取り組みを行っていない。実際にできる環境ではない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	9	5	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	10	2	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	5	4	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	6	4	4	15

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者家族からの苦情を申し送りで発信している。 苦情があれば、ミーティングを行っているように思う。 職員とのコミュニケーションは取れていると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 人員不足の為、地域との取組みがまだ薄い。 お祭りなどに参加している。・日本語が難しいため、家族と話す機会を持ってない。 介護者からの意見が運営に反映することが少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 事業所外での困りごとを聞き取り、一緒に考えていく。 職員一人一人の些細な意見も大切に聞き取り、検討していく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	15名
-----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	11	0	0	15

前回の改善計画	都度、自分自身の目標を意識しながら、研修に取り組んでいけるよう努力する。同じようなことが起こらないよう、リスクマネジメントを意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの人数が少ない中で、ヒヤリハットやインシデントを共有して協力できているから大きな事故がないと思う。 ・資格など、スキルアップに努めている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	3	4	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	6	2	1	15
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	5	8	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	8	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の体調・状況に合わせて職員が情報共有し、事故のないよう対応できている。 ・常に危険はあると意識してスタッフ同士の声掛け、見守りをしている。 ・研修に良く参加している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・現状でいいと思っているから、研修には参加していない。 ・研修など、自分からすすんでは参加していない。 ・ヒヤリハットの記録はとれているが、再発防止の周知が徹底できていないから再発が多い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・向上心を持ち、研修や職員会に参加し、研修報告にて共有していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月27日 (19:30~20:30)
------------------	-----	--------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	15名
--------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12	1	0	15

前回の改善計画	“ご本人の気持ち”を考えながら、日々の支援を振り返り、考察しながら支援していく。 間違っていることや、疑問に思ったことを、なんでも言い合える関係性を築いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・常に自分の意見は発言できている。 ・身体拘束や虐待はしていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	6	0	0	15
②	虐待は行われていない	12	3	0	0	15
③	プライバシーが守られている	9	6	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	3	7	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会などで学んだり、自主学習している。 ・タブレット化されたので、利用者が見ることもなく管理ができている。 ・虐待や身体拘束について、理解を深め意識付けを行っている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の対象者が居ない。 ・プライバシーが守れていないことがある(トイレの扉の開閉)→確認不足 ・必要な方に成年後見制度を活用している。 ・職員が大きな声で利用者のことを話していることがある。 ・言葉での～してはいけない、と拘束してしまうことがある→一人で対応している時は、今はできないことの説明がうまく言えない時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位の支援を常に意識し、自分自身の支援を振り返り、虐待や身体拘束についての意識を高める。 	